

令和元年度 卒業証書授与式 式辞

今日の卒業式は、全国的な新型コロナウイルス流行の影響を受け、感染拡大防止対策として、参列者を限定し、マスクの着用をお願いするなどの対策を講じて行うこととなりました。20名の来賓の方々のご出席や、在校生の参加のもと、多くの皆さんに祝福していただきながら式を行うよう計画してきました。さらに、教職員と生徒がともに協力して厳粛な卒業式を運営する、という方針のもと、生徒の代表による式進行を初めて行うよう計画し、準備を進めて参りましたが、全国的にウイルスの感染拡大を防ぐということでこの様な形で卒業式を行うことになりましたこと、ご理解いただき、ご参列いただいております皆さまには、温かく卒業生を祝福し、送り出させていただきますようお願い申し上げます。

ただいま卒業証書を授与しました、93名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。これまでの皆さんの努力と研鑽を心から讃えたいと思います。本日のこの喜びは卒業生の皆さんのたゆまぬ努力の結果であることは言うまでもありませんが、皆さんのことを絶えず気遣いながら支えてくださったご家族と周囲の方々の励ましのためのものであることを決して忘れてはいけません。この人生の節目に当たり、お世話になった方々へ素直に感謝の気持ちを伝えてもらいたいと思います。

皆さんは、総合学科での教育課程を自らが選択し、履修し、修得し今日を迎えました。この間皆さんは旺盛な向上心と探究心を持ち、本校の教育の特徴である、地域とつながりながらの学びや研究活動、資格取得などの学びを通して、自らの知識や経験値を高めていこうとしました。私は皆さんとは1年のつきあいでしたが、体育祭・文化祭・邇摩高フェアをはじめとする学校行事などでの皆さんの活躍ぶりや、地域に飛び出してのさまざまな活動は、これまでの取り組みをさらに改善・向上させる力をもった素晴らしいものでした。学業のみならず部活動、学校行事など学校生活すべてのことに全力で取り組み、社会に貢献できるよう、さらにこの地域で役に立つ人材となれるよう自らを高めようとする姿は、私たち教職員にとって誇りであり、皆さんと共に学びを深めることができたことに、心から感謝したいと思います。

さて、皆さんの邇摩高校での3年間は皆さんの人生に影響を与えるような3年間でしたでしょうか。これからの人生を豊かにするための基礎となった3年間でしたでしょうか。そして、一生の友人となる友に出会えた3年間でしたでしょうか。皆さんの生きていくこれからの人生は大きく変わっていく時代の中にあります。多くの仕事が人工知能に変わり、人間力や人望が問われる時代、働き方改革の時代、地方創生の時代など様々な変化や改革が起こってくる時代です。これら変化の激しい時代においては、その変化に柔軟に対応できる力や行動力が必要です。そのためにはこれからも新しい発想で、どんどん実践すると言った考え方や行動力が必要となります。本校の伝統精神である「勤労・創造・仁心」は、高校で育てたい生徒像や邇摩高校の教育活動の基本理念を示したのですが、皆さんが社会で働き、社会で生きていくための精神や心構えを示したのもでもあると思います。勤労の尊さや意義を理解し、働くことを通じて社会貢献できる人。変化に柔軟に対応して新しい発想で物事に取り組んでいける人。そして、思いやりの心を持って人と接し、感謝の心や人間愛の精神を持った人。どうか皆さん、本校の伝統精神である「勤労・創造・仁心」という心はこれからも持ち続けてください。そして、将来は社会人・職業人として、地域を担い、地域の役に立つ人材として、地域や社会から求められる人材としてさらに力をつけてください。私たち教職員はいつまでも応援しています。

最後になりましたが、保護者の皆さまにはこの3年間、時には厳しく、時には優しくお子様を励まし、支えていただき、また、本校の教育活動に絶大なるご理解とご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げますとともに、深く敬意を表します。

私たち教職員は、一同卒業生の皆さんと保護者の皆様と3年間ここで過ごせたことに感謝しつつ、卒業生の皆さんの前途が洋々で、幸多きことを心から祈念し式辞といたします。

令和2年3月1日

島根県立邇摩高等学校

校長 吉川 靖